

(様式7)

(排出事業者用)

令和5年 7月 4日

長野県知事 阿部 守一 様

### 令和4年度長野県産業廃棄物3R実践協定 実施結果報告書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画の実施結果報告書を提出します。

協定期間	令和4年度から 令和6年度		
会社名	株式会社 相模組		
住所	〒398 - 0002 大町市大町3052番地		
代表者名	代表取締役 蜜澤茂志		
業種	製造業 ・ 建設業		
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地	
担当部署	統括管理本部		
担当者名	平川常男		
連絡先	TEL	0261-22-1800	
	FAX	0261-23-4718	
	電子メールアドレス	Hirakawa.t@sagamigumi.co.jp	
ホームページアドレス	http://www.sagamigumi.co.jp		

#### 1 総排出量、リサイクル量に関する達成状況

※計画策定時に採用した指標で記入してください。

	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和3年度 実績値	令和2年度 実績値
総排出量の推移 (t・kg・m <sup>3</sup> )	6,544	12,663	7,122	6,116
リサイクル量の推移 (t・kg・m <sup>3</sup> )	6,345	12,357	6,929	5,883
売上高の推移 (円)	4,500,000,000	4,860,000,000	3,990,000,000	4,490,000,000

## 2 排出抑制、リサイクルのための取組に対する実績

- ①産業廃棄物管理責任者
  - ・統括管理本部長 窪田利行 産業廃棄物についての総括管理責任者
  - ・建築部長 降旗正義 建築工事の産業廃棄物についての管理責任者
  - ・土木部長 長澤謙児 土木工事の産業廃棄物についての管理責任者
  - ・住宅部長 勝家 徹 住宅工事の産業廃棄物についての管理責任者
- ②産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法に関する情報公開
  - ・多量排出事業者として、長野県知事に産業廃棄物処理計画書、同実施状況報告書を提出し、情報公開されています。
  - ・各現場において、産業廃棄物を一時保管する場合は、必要事項を記録した「産業廃棄物保管場所表示」を掲示しています。
- ③処理を委託する処理業者（施設）の稼働状況確認計画
  - ・中間処理場：各工事現場の産業廃棄物搬出前に、「建設廃棄物処理委託契約書」を確実に締結します。契約書の内容を確認し、さらに、県庁ホームページの「産業廃棄物処理業者名簿」を参考にして再確認を行い、処理委託を実行します。  
また、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の返送確認のため、「A票」右上の「照合・確認日」を確実に記入することを指導しています。
  - ・最終処分場：本社産業廃棄物管理担当者が、取引処理業者のうち、抽出した処理業者の発信する公開情報により、施設の稼働状況等、適正処理が実施されているかを年1回確認し、記録しています。
- ④従業員教育（研修）計画
  - ・従業員教育：新入社員に対して、産業廃棄物3R実践協定の内容について、教育しています。また、法令等の変更があった場合は、必要の都度、従業員教育を実施しています。
  - ・下請事業者教育：現場代理人が、新規入場時及び安全衛生協議会において、特に、産業廃棄物の分別について、現場のルールとして、教育を実施しています。
- ⑤リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階の工夫など）
  - ・産業廃棄物の分別を促進し、リサイクル率を維持する取り組みを重視しています。
  - ・現場ごとに最適な分別方法を選定し、分別を向上させる努力をしています。
- ⑥処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
  - ・不適正処理の状況を把握した後、関係機関に連絡します。
  - ・不適正処理された廃棄物の撤去や最終処分については、原因者に強く要請し、最終的には排出事業者として、適切な処置を行います。
  - ・不適正処置をした業者とは、以後、取引停止とします。
- ⑦不適正処置を発見した場合の協力体制
  - ・不適正処理と認められる現場を発見した場合は、会社産業廃棄物総括管理責任者へ報告のうえ、関係機関へ連絡します。

※必要に応じ写真等を添付してください。

## 3 リサイクル製品使用率（％）

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値		過年度実績値	
	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和3年度 実績値	令和2年度 実績値
再生砕石	100%	100%	100%	100%
再生アスファルト コンクリート	100%	100%	100%	100%
全 体				

※ 受注した建物等の工事に使用する製品・資材が多岐にわたり、全体材料使用量及びリサイクル製品使用量の把握が困難なため、リサイクル製品使用率の把握は実施していません